



No. 68

人口の動き

総人口	10,062人
男	4,500人
女	5,562人
世帯数	2,378戸
転入	47人
転出	46人
(2月末住民登録人口より)	

発行 / 岐阜県川辺町 ■ 編集 / 川辺町役場総務課 ■ 印刷 中部印刷 KK.

卒業おめでとう

在校生の手から手へとつながった赤、白、黄、色とりどりのテープのトンネルをくぐって、百五十八名の卒業生たちは、新しい社会新しい学園へと、三年の間、育ててくれたなつかしの母校を巣立っていきました。

(三月十二日 中部中学校にて)



水からきれいな水へ

広域的な浄水事業計画を実施

— 本町は302ヘクタールが対象区域 —

水、川、私たちの郷土は美しい川の恩恵をうけて栄えてきました。かんがい、工業・農業用水発電、観光、これらのすべては川の水がもたらしてくれるものです。それを利用しているのは、私たち人間です。

私たちは、その川の恩恵に対して感謝の念を忘れてはなりません。しかし、いま郷土をうるおしてくれる川は悲しみ、嘆いています。恩恵を与えてやった人間からお返しとして受けとったものは何だったでしょうか。

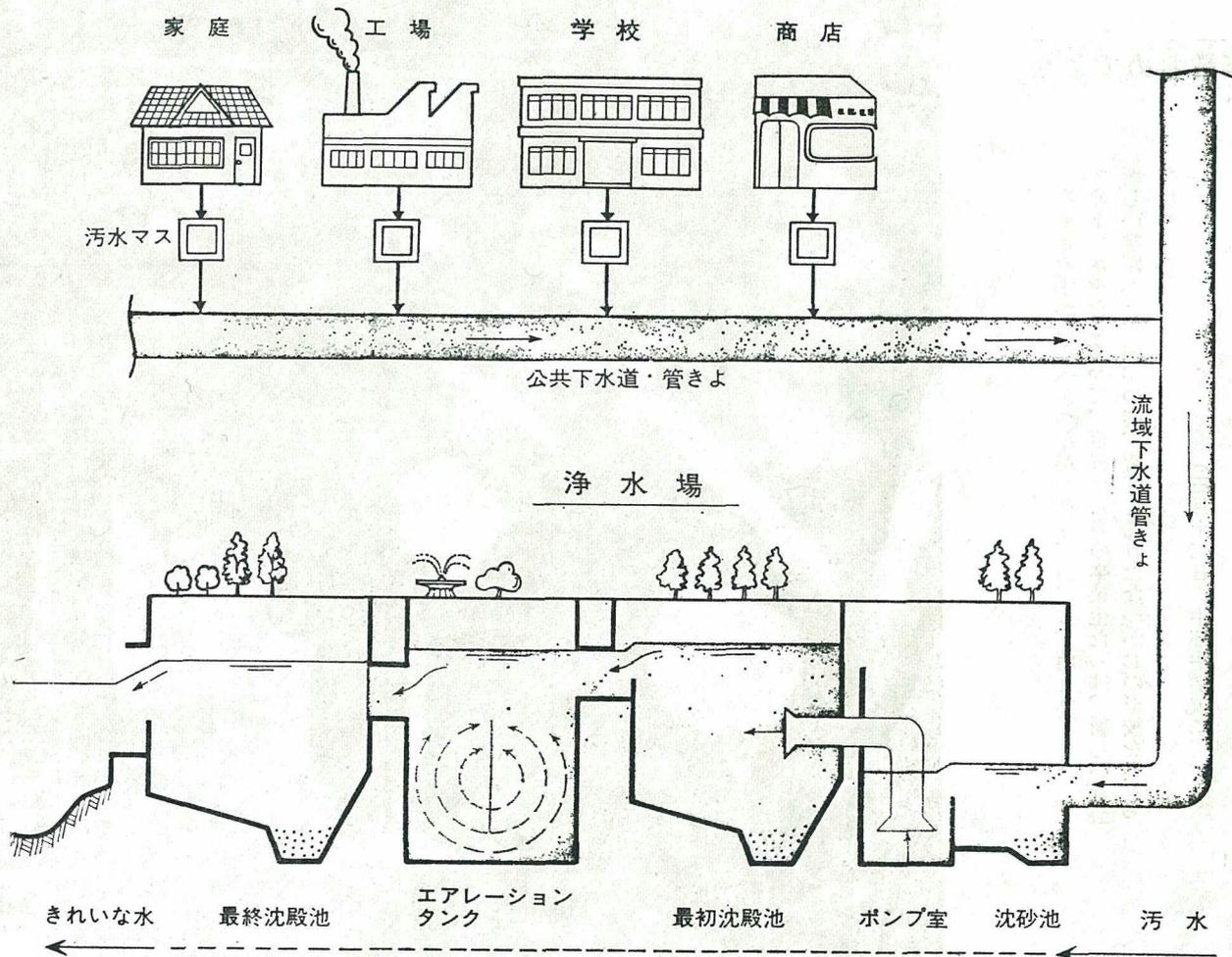
それは、河川の汚濁であり、汚染であったのです。

いまや、わが国は急速な経済成長によって家庭生活が向上し、そのため生活用水がいちじるしく増加しました。また、工業の発展にもなって工業用水も増加し、それらの排水によって都市内の河川は「どぶ川」となり、環境悪化の原因となっています。

岐阜県の本町三川についても最近、水質の悪化が激しくなり、このまま放っておけば死の川となり

・水質保全と良好な生活環境をめざして

流域浄水事業のしくみ



きたない 県が

さる昭和45年、国において水質汚濁にかかる環境基準が指定され、岐阜県においてもこの基準を達成するため下水道整備についての調査を行ないました。

この結果、抜本的な下水道整備が必要であるということから、県下三市十町の広い区域にわたった「木曾川流域浄水事業」が計画されました。以下、このあらましを述べてみましょう。

では、この流域浄水事業とはどんな事業か述べてみましょう。それは、図に示した「流域浄水事業のしくみ」のように、私たちの家庭、商店、学校などで使ったすべての水や、工場からはき出される一部の水を、公共下水道管を通して流域下水道管のバイパスへ送り込まれ、浄水場へと送水されます。浄水場では、図でごろんのよ

・総工費 350 億円で昭和
55年度完成目標

飲用水はもとより、農業用水、工業用水にも利用できなくなること、確かなことになってきました。こうしたことから、昭和四十五年に水質汚濁にかかる環境基準が指定され、岐阜県においてもこの基準を達成するため、さる四十六年から二ケ年にわたって、下水道整備について総合的な基本計画の調査を行ないました。

この結果、木曾川流域と長良川の一部を含む流域の水質保全と、良好な生活環境を確保するため、広い区域にわたって下水道整備の計画をはじめました。

この計画がいわゆる木曾川右岸流域浄水事業というものです。

昭和三十五年の市街化区域を想定して、処理区域面積一三、八〇〇畝、処理人口約六十万人で一日の汚水量約六十万トンを処理しようとするもので、総工費三百五十億円という巨額を見込んだ岐阜県でも最大の事業計画となっています。工事は昭和五十五年完成を目標に四十八年度から調査、設計をはじめ、五十三年度には一部処理の開始が予定されています。

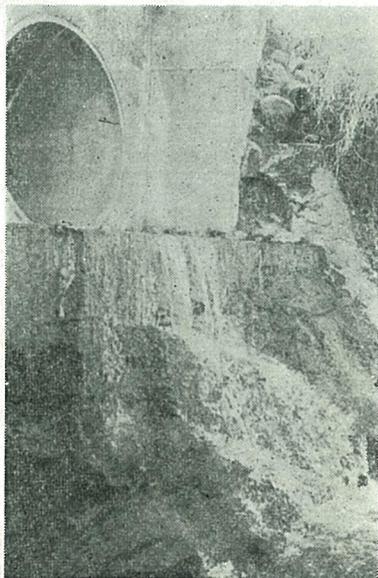
本町は三〇二トンで毎日約一万トンを送水

こうした総合的な浄水事業は、本町も対象区域とされたことはすでにのべましたが、具体的には石神、中川辺、西橋井、下川辺、比久見、福島のそれぞれ一部を除く地域三〇二畝で、昭和六十五年の想定人口約八千五百五十人で、毎日約一万トンの汚水が浄水場へ送られる計画になっています。

・ドブ川よさようならー
トイレは水洗化に

このように私たちのまちからはき出された汚水は、各務ヶ原市に建設予定の浄水場へと送られますが、ここでは地域のみなさんに親しまれる施設として、つねに数人の専門検査員が水質検査を行ない地域における二次公害の発生を防止し、よりよい処理ができるよう新しい技術と近代的な管理システムによって処理されることになっています。

この施設はすべて地下式となり地上には公園をつくり深い緑につつまれた道路やサイクリングコースや、ナイターも楽しめる野球場



やがて汚水のたれ流しもなくなり、清流がよみがえることでしょう

など健全なレクリエーションセンターとして地域のみなさんに開放されることとなります。

こうした大がかりな流域浄水事業が実施されますと、本町においても終末処理場をつくる必要もなく、汚水をまとめて処理しますからいろいろな施設などにむだがはぶけ経済面にもたいへん効果的であると思われまます。

そして、私たちの町から悪臭の清流を一種の誇りと感じていた「山紫水明」のことがきつと戻ってくるでしょう。

この大規模な事業をこれから円滑に進めていくためには、なにによりまず住民のみなさんや企業などの理解と協力が必要となりますので、よろしくお願いします。

現代の 若者たちの 考え

青年意識調査アンケート結果から

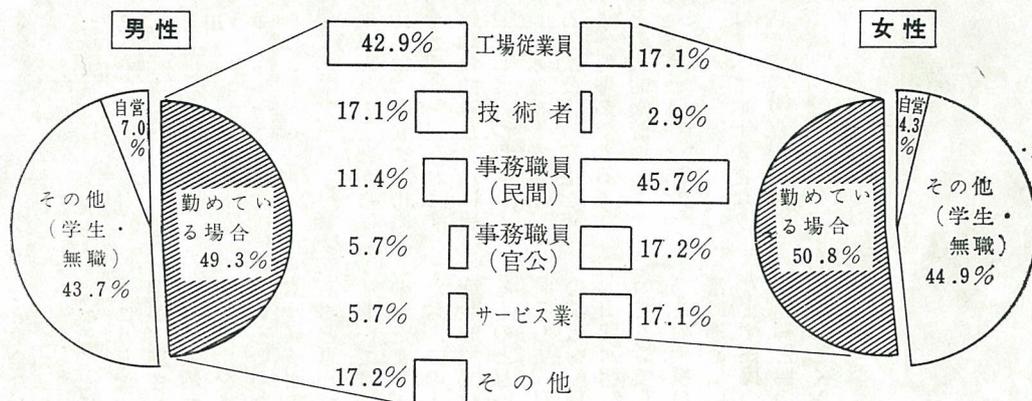
青少年が心身ともに調和のとれた成長を遂げるためには、家庭、学校、職場、地域社会などにおける指導をはじめ、その余暇活動の善用について適切なアドバイスを与えることの大切さはいうまでもありません。

さきに県において「青年の余暇利用と行動意識に関する調査」を行ないましたが、本町においても十数項目について町内に在住する青年のみなさんの意志を問ひ、このほどその結果がまとまりました。

調査方法は、地域の戸数に応じて、その地域に在住する十六歳から二十五歳までの青年男女（高校生含む）二三四名を無差別に調査したもので、この有効回収数は一四四名で回収率は六一・五％でした。

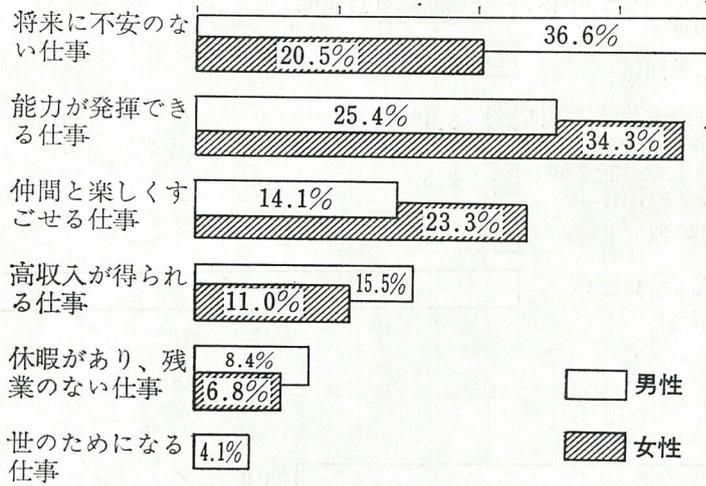
若いみなさんが、生活行動をどのように考え、過ごしているのかこれからの町のない手として見守っていただくためにも、ぜひご覧ください。

○ 男女別の職業分析はどうか——



男女とも約半数が勤めており、職業別にみると、やはり男性は工場従業員、女性は民間会社の事務職員が圧倒的に多いようです。

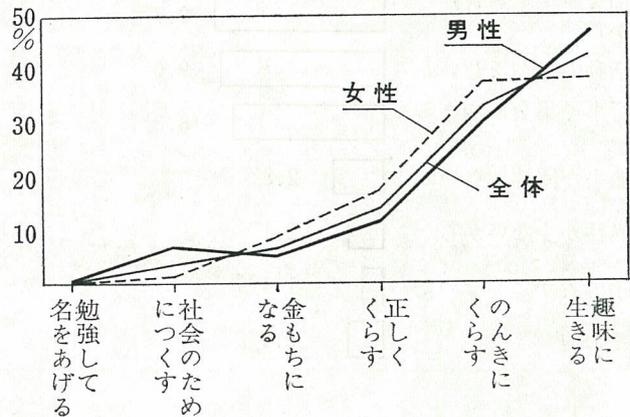
○ 望ましいと思う職はなにか



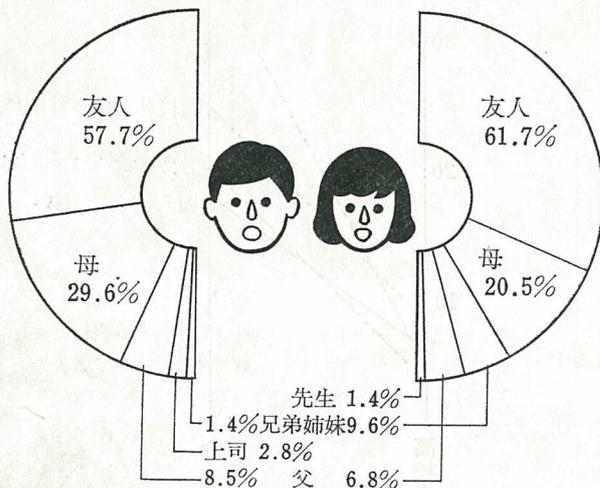
やはり男性は将来性ということを十分に考えているし、女性の特徴としては仲間関係をたいせつに考え、自分の能力の生かされる職場を望んでいることがうかがわれます。

○ 暮らしについての考え方はどうか

あまり男女差は見られませんが、一般にいえることは、お金や名誉などに左右されず趣味に生き人生を楽しく暮そうという、いわゆるマイホーム型の青年が多数を示めています。またその日その日ののんきに暮らしたいと考える若い人達の人生観がうかがえます。



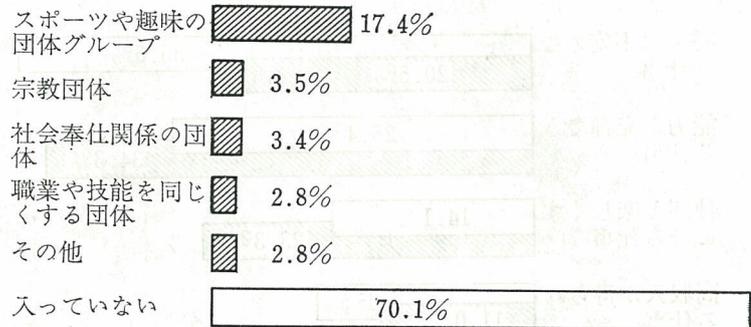
○ 悩みごと、心配ごと相談の相手はだれか



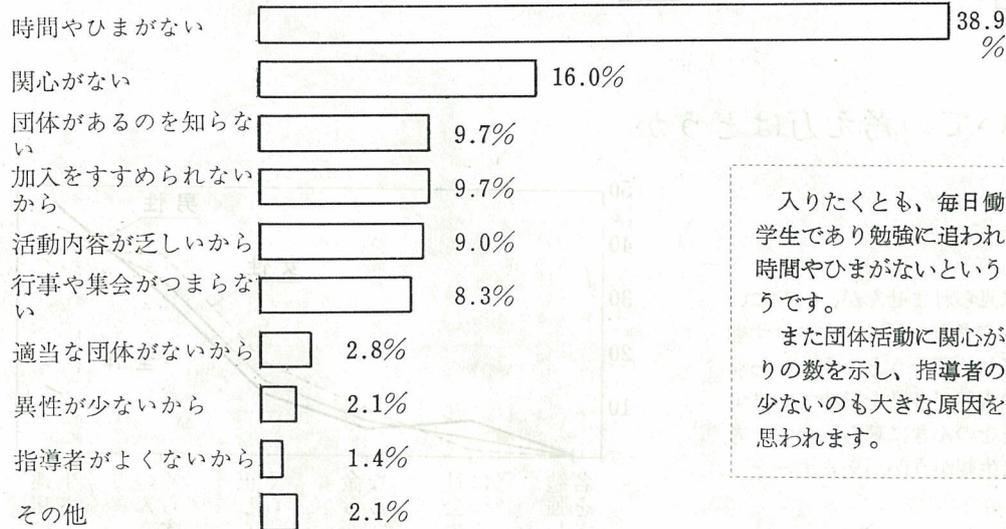
県の調査の結果をみると、悩みの相談相手としては女性の場合は母がもっとも多いのに本町の結果とは少し変わっているのに気がつきます。男女とも友人関係がもっとも信頼度が大きく、それに引きくらべて、先生や上司がたいへん少ないのは、何か考えさせられるものがあるようです。

○ 何か団体、グループに入っているか——

青年団活動を進める場合、もっととっと早いのが趣味やスポーツの団体であるし、グラフからもそれがわかります。また、団体やグループ活動に参加していないものが7割を占め、このなかには高校生が多数入っていないのをみがしてはならないと思います。



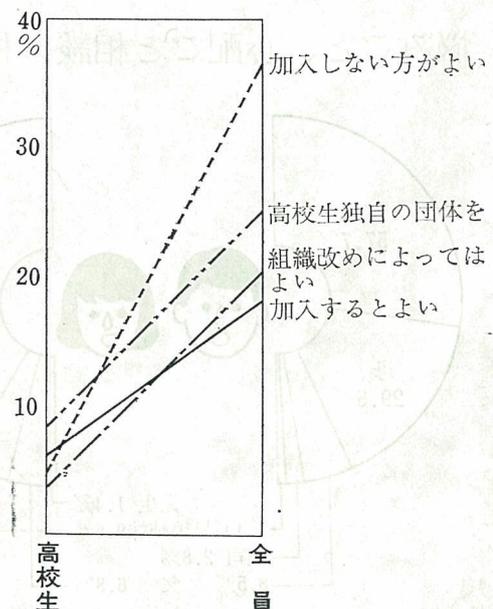
○ なぜ本町の青年団に入らないか



入りたくとも、毎日働いている身であり、学生であり勉強に追われている身であるから時間やひまがないというのが圧倒的に多いようです。
また団体活動に関心がないというものかなりの数を示し、指導者の問題や異性の加入の少ないのも大きな原因をつくっているように思われます。

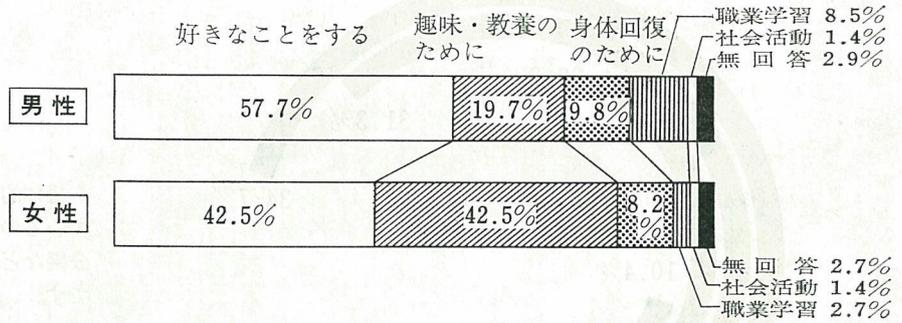
○ 高校生の青年団に加入することについてどう思うか——

高校生のみと、高校生を含めた全員との両面をあらわしてみました。高校生のみをみると、各項目あまり開きはありますが、全体からみると4割近い者が加入しない方がよいと答え、高校生独自の団体をつくることに賛成しているようです。

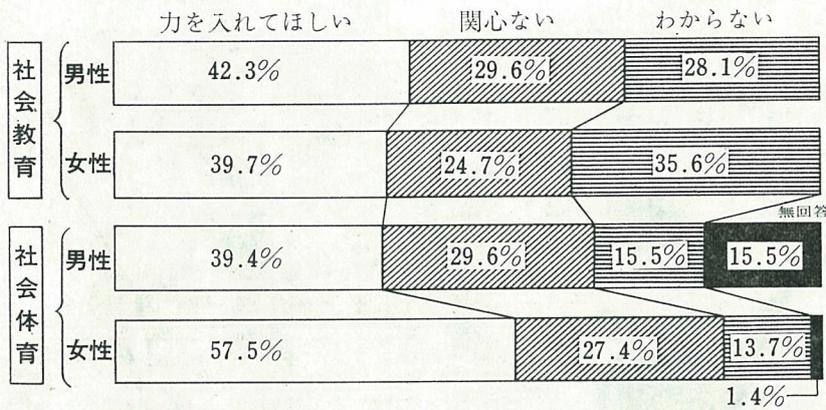


○ 余暇時間をどのように使うべきだと思うか

グラフからもわかるように、好きなことをして過ごす青年が男女とも約半数を占め、現代青年の気質をのぞかせています。反面、社会に役立つ活動とする数が案外低率であることは県の調査とよく似ています。



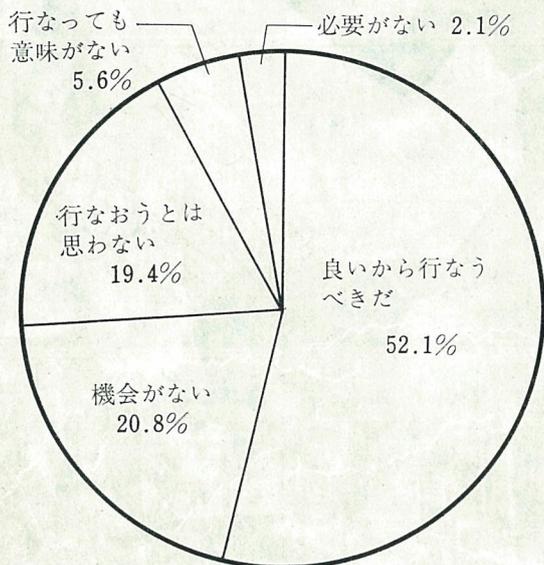
○ 社会教育(生涯教育) 社会体育(体力づくり)についてどう思うか



社会教育（生涯教育）について関心がない、わからないと答える者が多くあるのは、こうした言葉に接する機会が少ないからだといえましょう。それにしても半数近い青年のみなさんが現代社会に立ちおけている社会教育にもっともっと力を入れるべきだと力説しているのが聞かされるようです。

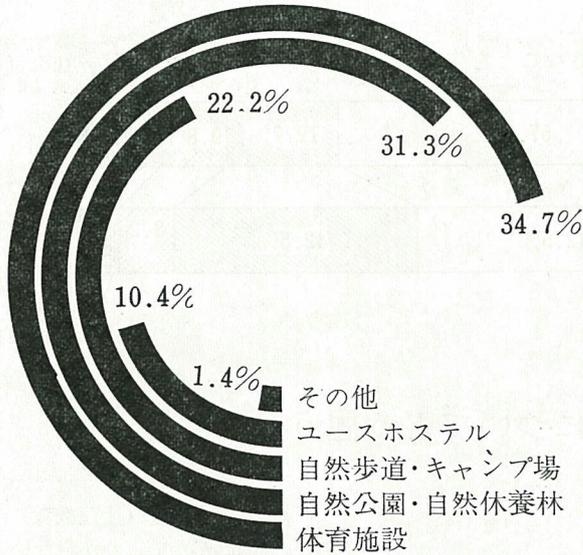
また、社会体育については体力づくりに力を入れてほしいという願いが男性の方に多くみられるかと思いましたが、結果としては女性の58%と逆に多くなって、半数以上の青年が強く望んでいるのがよくわかります。

○ 社会奉仕ということについてどう思うか



社会奉仕はよいから実行したいと考えるのが約5割を占め当然といえば当然のことです。ただ機会がないから、したくともできないと答えたのが20%あるのは、ちょっと意外のようでした。このことは「社会奉仕ということは何か特別な目につきにくいものだ」「自分から遠くはなれたものだ」と考えているせいではないでしょうか。

○ どんない公共施設を整備してほしいか



総体的に青年のみなさんが望んでいるのは体育施設であり、自然公園などを強く希望しているようです。

私たちが青少年について語るには、まず青少年のものの見方、考え方を知る必要があります。この調査は、今日の若者たちが、家庭、職場、社会など青少年をとりまくそれぞれの生活領域と、青少年個人との関係をどのようにとらえているかを明らかにするため行なったものです。

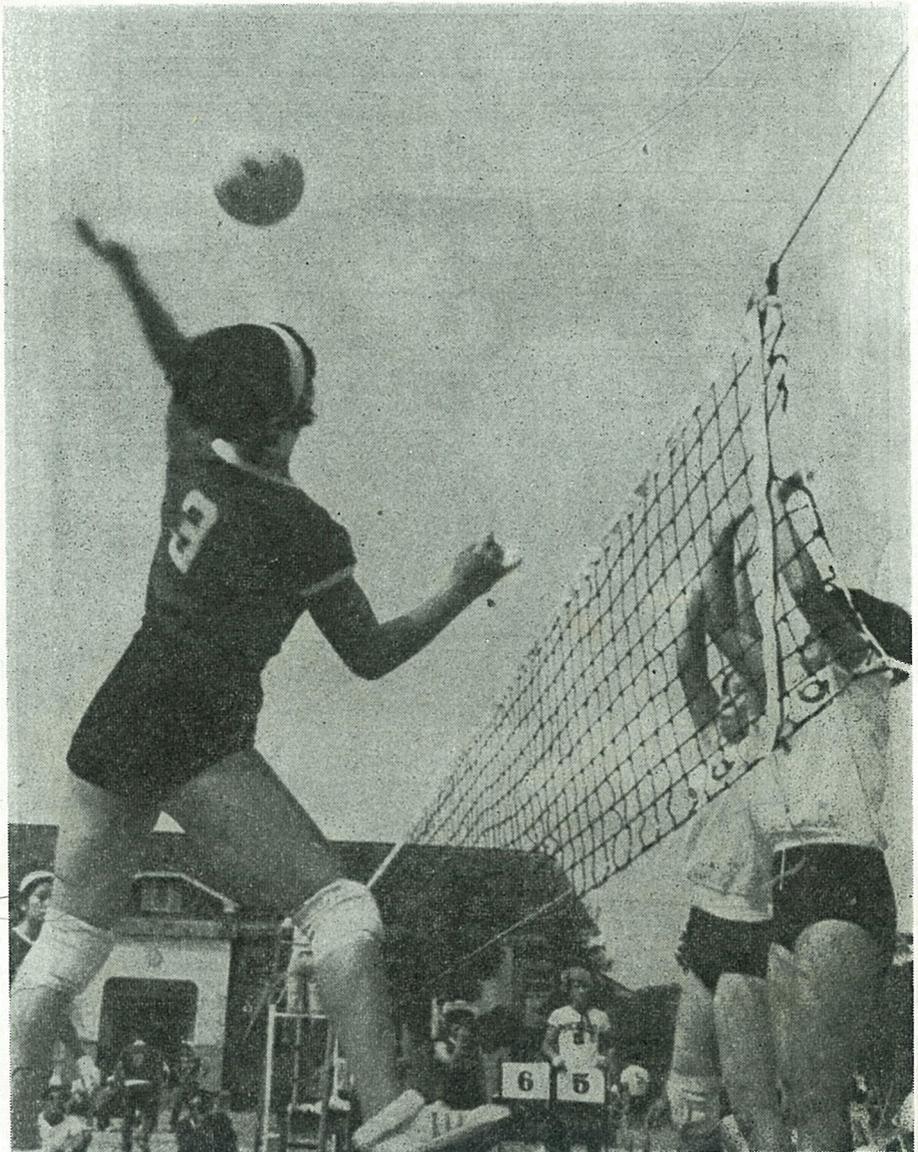
1970年代は、政治の革命にもまさる意識革命が行なわれている、といわれています。このような社会に生きる若者たちを理解し援助し、指導していく社会の責任は、ますます重要となっています。

青少年、個々の成長を願い、また全体への協調性をみがき、希望にみちて未来を開拓していくことを願わずにはいられません。

そのためには、いろいろな活動がいっそう活発に推進されなくてはならないと思います。

この調査はほんの一例にすぎませんが、青少年に接するみなさんのひとりでも多くの基礎資料として活用されることを望んでいます。

なお、アンケートの配布、回収など婦人会のみなさんにご協力いただいたことにお礼申し上げますとともに、この調査について、ご意見、ご感想がありましたら教育委員会事務局までお寄せください。



心に誓おう “無事故 無違反”

「歩行者とくに子どもを守る」が運動の重点です

交通安全はみんなのねがい——というものの、年とともに交通問題は深刻化しています。この春も、全国的に交通安全運動がくり広げられますが、時あたかも新入学期と行楽期のまっさいちゅう。毎年の行事ながら、住民の意識を高める運動を続けていくことが無事故、無違反につながる唯一の道であるため、私たち町民はお互いに注意し合って、事故ゼロを達成しようではありませんか。

四月六日から十五日までの十日間、全国いっせいに春の交通安全運動がくり広げられます。

この運動は、歩行者、運転者、運転者の雇主のほか道路交通に関係のあるすべての者に、交通安全に対する考え方を徹底し、正しい交通のルールの実践を習慣づけ交通事故防止の徹底をはかることを目的として行なわれるものです。

運動の重点としては、歩行者事故、とくに新入児童や園児、それに自転車事故防止に向けられます。



○……スクール・ゾーンは子どもの安全区域、新入児童や園児、幼児から交通事故をゼツタイ出さない地域です。

○……歩くことになれない新入児たちには、まわりの人やドライバーが十分気をつけてあげたいものです。

す。

町内では、町交通安全対策協議会が中心となって運動が推進されますが、町民ぐるみで安全を守りあい、この運動の成果を期待したいものです。

とくに、このような運動は実施団体や各機関の一部のみが「タイコをたたく」ことになりがちで、案外無関心のところがあるようです。運動の期間中에서도悪質な違反があつたをたたないのが過去の実情です。

このため、町交通安全対策協議

会では、横断歩道を中心とした六ヶ所において街頭指導を行ない、全町民が守るべき目標として、

「十日間無事故、無違反」を掲げ、運転者は「子どもをみたら、速度を落とす」、歩行者は「道路の右を「一列に歩く」など、それぞれの立場から全町民に協力を呼びかけます。

事故を防止するためには、運転者はもちろん、歩行者も気をつけなければなりません。とくに子どもと老人については、日常の家庭や学校でのきびしいしつけと、正しい指導が必要です。

子ども会、婦人学級、あるいは老人クラブ活動など、あらゆる機会を活用し、交通安全に対する指導、教育を行なうことも、子どもと老人を交通事故から守る運動の実施内容とされています。

私たちはあまりにも多い交通事故に、慣れっこになっているようなことではないでしょうか。このときこそよく反省してみようではありませんか。



4月6日～15日
春の交通安全運動

・卒業写真はございませんか

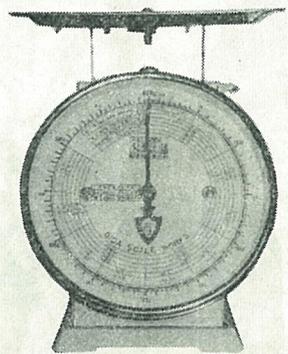
—川辺小学校より—

川辺小学 校ご卒業のみなさん、お元気でそれぞれの場でご活躍のことと存じご同慶に堪えません。ところで本校では現在明治・大正昭和にわたつての代々の卒業写真を整理し、年度別に掲示して長く保存できるような仕事を始めています。なかには欠けている年度もあり、またいたんでいて掲示に不向きなものもあって整理が中断している状態です。そこで、お手持ちの卒業写真でご都合をつけていただけの方がございませぬでしょうか。一代の記念であり、かけがえのない貴重品でありますのに、このようなことをお願いして恐縮に存じますが、ご協力を願います。お寄せいただいた写真は、校内の最適な場所に長く保存させていただきますので、よろしくお願います。

あなたの健康度は

県立健康院で

ぜひ健診を



県民の死亡原因の五〇％以上は高血圧、脳卒中、心臓病、ガンなどの成人病です。三十代から四十代に最も発病しやすい成人病も定期的に健診をうけ、早期に発見できれば助かることが多いのです。県立健康院は、働き盛りの県民の健康をチェックし、成人病の早期発見をねらいに昨年四月からオープンしました。

ここでは、最新の医療機器とコンピュータを組合せた健診システムで、ひとり四十数項目の検査を三時間で行ないます。これまで県下でおよそ一万人、本町からも五十一人の方が受診されていますが、予想以上に女性の方が多く、女性の大半は主婦となっています。年齢では四十代の方がもっとも多く全体の四割で、つづいて三十代、五十代となっています。

健診の結果、小さな異常に気づいて積極的に流れがちな日常生活（食事・運動）にブレーキをかけるよい機会にされた人も多くあります。そして糖尿病、肝臓病などは自覚症状がなく、健康院の健診をうけて始めてわかったというケースが多く、健診の重要性が再認識されている現状です。こうして病気の早期発見や健康度を知らするための総合健診システムとして、みなさんの健康管理のおつたいをしています。最近は一日の健診能力も倍増して待たなくても早く受診できるようにになりましたので、ぜひご利用下さい。

健康結果は、精密検査の必要ない人が受診者十人のうち三人ほどあり、なかには治療の必要な人もあるといわれています。また健診をうけて「健康者」と判定され、体力にますます自信をもち、さらに健康増進に心がけてみえる人も少なくありません。

そのほか健診の結果、小さな異常に気づいて積極的に流れがちな日常生活（食事・運動）にブレーキをかけるよい機会にされた人も多くあります。そして糖尿病、肝臓病などは自覚症状がなく、健康院の健診をうけて始めてわかったというケースが多く、健診の重要性が再認識されている現状です。こうして病気の早期発見や健康度を知らするための総合健診システムとして、みなさんの健康管理のおつたいをしています。最近は一日の健診能力も倍増して待たなくても早く受診できるようにになりましたので、ぜひご利用下さい。

健診の内容 胸腹部レントゲン、胃部レントゲン、身長、体重、皮厚測定、視力、眼圧測定、肺機能、血圧、心電図、心音図、眼底、問診、血液などで四十五項目です。 検査の前日は暴飲暴食をさけ、検査当日は朝食、湯茶、水、薬など中止してください。また、眼底検査の際使用する薬でものが見にくくなるので、当日は自動車の運転はやめてください。

おしらせコーナー 自動車税の納期 今年一回で五月に 今まで自動車税は、四月と十月に分けて納めていたのですが、昭和四十九年度から一年一回に納めていただくことになり、納期は五月三十一日となります。従って、自動車税事務所から

申し込むか、保健所、役場で申し込み書に記入してください。 健診料 ひとり一万五千円ですが、自動化総合健診は健康診断ですから、保険の対象になりません。 検査の内容 胸腹部レントゲン、胃部レントゲン、身長、体重、皮厚測定、視力、眼圧測定、肺機能、血圧、心電図、心音図、眼底、問診、血液などで四十五項目です。

健診の時間 毎週月曜日から金曜日まで、毎日午前八時三十分から実施しています。 健康院の所在地 岐阜市長森野一色豊前 電(五五)四六六一三一一

健診料 ひとり一万五千円ですが、自動化総合健診は健康診断ですから、保険の対象になりません。

Table with 2 columns for dates (4月17日 and 4月18日) and 2 rows for locations (鹿塩公民館 and 下川辺公会堂) with corresponding times.

狂犬病の予防注射について 昭和四十九年度前期の狂犬病の予防注射を次のとおり行ないますから、該当者は必ず受けてください。 なお、注射代金は一頭につき一回が三百六十円、登録代金は三百円です。

精薄児問題を考える

④

精神薄弱児のための教育機関

学令期になると子どもの発達や障害などをしらべその程度によって、ちえおくれの重い子は、養護学校に、程度が軽く問題の少ない子は、特殊学級にかよわせることになっていきます。

新しい法律では昭和五十四年度からは、それが義務教育制になることになっていきます。これらの学校学級への入学入級はこれらの学校でその指導をしています。川辺町の場合は、町教育委員会の中に心身障害児(者)就学指導委員会が設けられ専門の仕事を進めています。こういったことについては

電話なり、直接相談をしてください。また、町内には、川辺小学校中部中学校に特殊学級が設けられていて、毎日そこでその子なりの特性を考えて、指導しています。現在までに、この学級を卒業した生徒は、五十名をこえています。それぞれの子なりの職場で立派な社会人として生活しています。

子どもを、養護学級や特殊学級に入れることを恥ずかしいことだと考えている人、入級を拒否する親もいますが、それは大きなまちがいで、かえって子どもの成長をだめにしてしまいます。普通学級にいては、能力も個性もとりえを伸ばすこともできず、生きるよろこびをつくりだすこともできないで

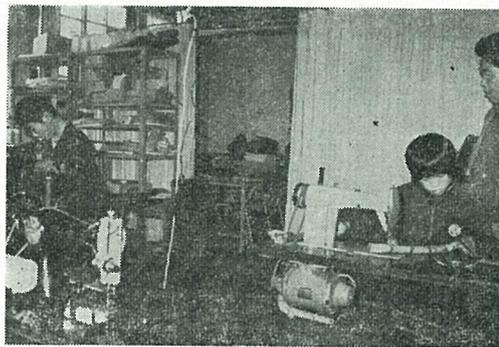
ひげめを感じ、暗い、ゆがんだ性格をつくることとなります。明るく生き生きした子どもにするために、おっくうがらずにこうした学級へもでかけ見学して、こどものための教育の場をみつめてやること大切ではないでしょうか。

特殊学級のあらまし

学級では、つぎのようなことを目標に、子どもの教育に励んでいます。

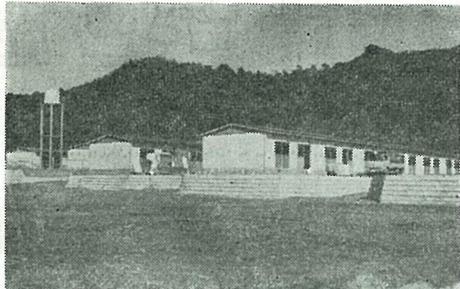
- 一、生活学習
この学習は、こどもの興味や関心をもとにして、日々の生活(行事季節)におけるものから生活に役立つものを身につける学習
- 二、教科学習
生活を進めるための道具としてのことばや数の学習。そして心を豊にするための音楽、図工などです

三、作業学習
社会生活の自立をめざして、将来りっぱな職業人となるために、能力や態度、協力の精神や責任感を養うための学習としてそれぞれの目標にそって指導しています。



カメラルポ

比久見団地が完成



町営住宅比久見団地、20戸の建設もほぼ完了。偉容な姿となって白い壁に青い屋根と、そのコントラストをえがき、入居者を待っています。

春のおとずれ



寒い冬のあいだ続いていた西高東低の気圧配置もしだいにゆるんで、日中の気温がどんどん上がって、ぐっと春めいています。



南の暖かい地方では、そろそろ桜が咲き、月末ごろにはツバメも訪れてくるでしょう。郊外の野原には、ごらんのように

「つくし」と「ふきのとう」が目を出し、いよいよ本格的な春の訪れをつけています。

お知らせコーナー

五月中旬にお送りします納税通知書によって、もよりの金融機関へ必ず納期限までに納めてください。

不燃物を収集します

(不燃物ガラス類、鉄くず類)の収集を次のとおり行ないますから、それぞれ区別して指定の場へ前日までに出示して下さい。

- ▽四月十六日(火)
福島、下飯田、比久見、下吉田、下麻生、石神
- ▽四月十七日(水)
中川辺、西橋井、下川辺、鹿塩

町営住宅の入居者募集を締切り

さきに町営住宅、比久見団地の入居者募集をいたしました。応募者多数のため、比久見団地およびそのほかの町営住宅の募集を三月二十日をもって、一応締切りましたので、よろしくお願ひします。

心配ごと相談はありませんか

毎月第一、第三水曜日は心配ごと相談日です。四月三日、十七日の両日、午前九時から十二時まで役場で行ないます。

生活上の問題、家庭不和など心配ごと、悩みごとがありましたらお気軽にお出かけください。秘密は厳守します。

家庭



花といえは、四月はまずサクラでしょう。わが国を代表する国花として世界中に知られています。むかしから歌によまれ、時を忘れての觀賞にたえてきたサクラは、その色香と優雅な姿が抜群ですが、花の盛りが短かくて、ぱっと咲いてぱっと散る、その散りざわのよさが、わたしたちの氣質に合うのか、サクラの花ほど多くの人から愛されているものはありません。

花屋さんの店先に、パンジーやデージー、ナデシコやキンセンカが黒い土をつけてならべられています。うす紫のクロッカスや、まだ葉だけのチューリップなども、切り花とはまたちがったかわいらしさがあります。

しばらく忘れていた土いじりの楽しさを思い出し、庭のすみにも植えてみたいものです。パンジーは根にふれなように肥料をやると、夏ごろまでも花を咲かせ続けます。

交通事故

ゼロへのながい

思いやりのある
運転をしよう

今日の交通事故のもとでは、あなた自身はもちろん、あなたの妻や親、兄弟が交通事故にあわな

を交えてにらみつけられたが、家臣のひとりか

「なぜ、もう少し注意して運転してくれなかったのか」と、怒りをぶちまけたくなることでしよう。もし、あなたが事故を起こせば、あなたは逆に相手から責められるのです。車を運転するときは、歩行者や自転車に乗っている人はもちろん、他の車を運転している人もすべて自分の家族だと考えて運転しましょう。

いという保証はどこにもありません。もし、あなたの家族の誰かが交通事故にあつたとしたら、たとえどのような事情があったとしても



③ (資料提供—龍洞寺)

不意をつかれた毛利勢はたいへん驚き、あわてふためき右往左往するばかりで、相手が福島勢とみて家中の面々は降参のいろを見せた。

城主の毛利勘右左門は、「みんな戦う用意をせよ」と声をほり上げてさしずると、「かしまつて候」といいながら、急にほこ先を交え、主君の毛利に向つて手にした槍を突きかけた。毛利は驚いて、「これはまたなんとしたことじゃ」と、顔色

を変えてにらみつけられたが、家臣のひとりか

「なにゆえ、すぎましいことでごさる。よく胸に手をあてて考え召され、そのほうの如き、悪逆無道の君には、こちらからひまをとり申す。その首をかき切つて、降参の手段にいたす。かんにんされよ」というと同時に、わき目もふらずに槍を繰り出すと、さすがに豪気な勘右エ門は大刀を抜いて応戦した。

こうして、同志打ちを演じている間に福島勢は、城近くまで押し寄せたが、木戸にも逆茂木のあたりにも人影はなく、防戦するようすはなかった。裏切るようにみえたが、誰も城外へ出てくるようすもない。

「これは、何かはかりごとがあるかも知れぬ」と用心してしばらくようすをうかがっているうちに二番手、三番手もだんだん駆けつけてきたので先陣の小左エ門が大音声を取りあげた。

「われこそは福島の城主、肥田玄蕃允の家老、各務小左エ門吉国という者なり。先陣をうけたまつて向つたり、ことごとく立ち出て、刃の力を合せよ」となると、城内から若武者がひとり出てきて「降参いたす」といった。

「降参するならば、人質を渡したまえ」と、城内に向つて呼びかけると、「いずれ参らせるから、しばらく待ちたまえ」と答える者があつた。

まもなく毛利方で名の知られた青猪城右エ門、星野清九郎、渡辺源太夫、奥村九郎太夫、座馬左近、白木兵部、田代又之丞をはじめ家中の面々が城外に出てきた。ところがよく見ると、主君勘右エ門の首を槍の先にごもく差しにして、よろい、かぶとは着用せず、上下ふだん着を着ていた。「さあ、人質を渡そう」ということで各務小左エ門はじめ一同大いに喜んだ。

おめでた おくやみ

(二月中の届け出)

〔出生〕

ご成長をお祈りします

- 中川辺 山田こずえ 辰義 二女
- 安渡 敦史 湊 二男
- 西垣 利美 勝利 長男
- 右田 茂 実生 二男
- 幸村 由紀 繁 長女
- 高田 淑子 保 〃
- 山田 美雪 文憲 〃
- 岡本 幸治 良則 長男

〔死亡〕

- 謹んでおくやみ申し上げます
- 上川辺 佐伯 初市 68才
- 中川辺 渡辺 代二 61才
- 井沢 信夫 65才
- 長谷部市郎 72才
- 西橋井 大谷すみゑ 62才

昭和四十八年度県広報協会主催の広報コンクールで本町の広報紙が初の入選となりました。

これは町の指導部門の深い理解と皆さんの協力と盛り上げのおかげだと思います。

今後ますますその使命は重要となりそのためには、いっそうのアドバンスやご協力によって充実させたいと考えています。